

つなぐながれ広まれ

NPOの輪

〈市民公益活動団体リレートーク⑩〉

田んぼアート実行委員会

「稲の成長とともに色合いが変わり、徐々に絵柄が浮き上がるのが田んぼアートの醍醐味」と語るのは、田んぼアート実行委員会の会長である森岡誠さん。会では、種類の違う苗を植えて水田に絵を描く田んぼアートに取り組んでいます。田植えと稲刈りの農作業体験や、食と健康に関する講演会も行っています。「農業のイベントで、まちににぎわいと人の輪をつくりたい」と考えていた森岡さん。青森県田舎館村の田んぼアートの迫力に感銘を受け「これだ」と確信しました。地域の農業者仲間と共に組織作りをすすめ、平成20年2月、関係団体や企業、生協など15団体で会が設立されました。キャンパスとなる水田は、水沢区佐倉河字北田地内の2枚（約30㌥）。

メインの絵は市内5区を代表する郷土芸能や特産品です。下絵はいつも、イラストレーターのTAGさん（滝沢村在住）が作成。それを基に、遠近法を使って図面を作ります。測量して下絵を水田に写す大変な作業は、水沢の土地家屋調査士協会が協力してくれました。会員も、区画を分ける2000本もの杭を打ち、準備を整えました。田植えや稲刈りには、約200人が参加。小中学生からその祖父母まで老若男女が水田に入り、声を掛け合って作業が進みます。杭と紐で区切られた区画ごとに、色の違う苗を植え、色ごとに分けて刈り取りを行います。参加者は、食糧を作る大変さを実感し、農業への理解を深めてくれました。

ことしのメインとなるアートは前沢牛



アートは、会場に隣接する乙女川河口公園のやぐらから眺めることができ、毎年数百人の見物客が訪れます。「ことしも見たよ」「今度はこの絵を描いて」などと、地域の話題も増えて活気づきました。今後は、複雑な絵に取り組んだり、色の組み合わせを変えたりすることで芸術性の向上に取り組み、アートとしての完成度を高める予定。見ごろの時期に合わせたイベントの実施も検討しています。にぎわいと人の輪を生んだ田んぼアート。10月下旬には、稲刈りと、食と健康についての講演会が行われます。皆さんも参加してみませんか。田んぼアート実行委員会事務局（三宅 ☎ 9562）



5月29日の田植えには約200人が参加し、苗を混ぜないように植えていました

interview



田んぼアート実行委員会
会長

森岡 誠さん（59）

田んぼアートは準備が8割で、100人以上が関わります。多くの知恵と技術が結集しないと、作品として完成しません。初年度は本当に苦労しました。見た人からの「ことしも良かったよ」との声が何よりの励みです。

躍動感のある絵柄で水田に命を吹き込み、皆さんに感動を与えられるよう、これからも取り組んでいきます。



東水沢中学校2年
美術部

佐藤 遥香さん（13）

去年とことし、友達と田植えに参加しました。農作業は、それまでしたことがありません。

絵の輪郭部分は幅が細くて、苗を植えるのに苦労しました。7月中旬に家族と見に行くと、輪郭がくっきり出て文字がはっきり見えると褒められました。

田んぼアートに参加して、皆で力を合わせる事が大切だと感じました。

NPO 伝言板

市内のNPO活動をお知らせします。情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎ 4200）までお問い合わせください。

●地域医療出前講座

日時：8月30日 午後2時半～4時

場所：市民活動支援センター

内容：がん患者と家族の会である奥州かたくりの会が主催する講演会で、演題「放射性物質による健康被害～放射能を正しく理解するために」講師：菅原智氏（奥州保健所長）問い合わせ：奥州かたくりの会（市民活動支援センター ☎ 4200）

●婚活・恋活「絆づくり」10時間の出会い

日時：9月3日 午前11時～午後8時半

場所：市民活動支援センター

内容：ワークショップ、石焼窯ピザづくり、交流会を通じた婚活
対象：出会いを求める成人の独身男女
参加料：男性5,000円、女性3,000円
問い合わせ・申込先：特定非営利活動法人奥州・いわてNPOネット（市民活動支援センター ☎ 4200）

●結婚支援のための講演会

日時：9月4日 午前10時～正午

場所：市民活動支援センター

演題：「結婚支援活動の現状とこれからの支援」
講師：板本洋子氏（結婚問題アドバイザー）
問い合わせ：特定非営利活動法人奥州・いわてNPOネット（市民活動支援センター ☎ 4200）

NPOとは…市民公益活動団体のこと。NPO法人やボランティア団体など「公益的な活動を、自発的に継続して行う民間非営利組織」の総称です